

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	10	事業名	生涯学習推進事業		担当課		生涯学習課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		9-4-1-1 生涯学習推進事業		
			（中事業名） 生涯学習推進事業		決算書ページ		223	～	223
I 基本情報	総合計画	基本目標	1	「やってみたい」でつながるまち					
		政策	2	「やってみたい」が実現できる仕組みづくり					
		施策	(3)	誰もが活躍できる地域づくり					
	その他	開始年度	2008						
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可		
		根拠法令等	社会教育法						
		関連計画	第2次長久手市生涯学習基本構想						
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）			
				②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)	
		【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 61000 【事業内容】 市民が生涯学習への関心を高め、学習意欲を持つきっかけとなるような生涯学習講座を開講します。また、講師と受講生が協働して講座運営を行います。		【アクションプラン指標】 公民館講座開講数【単年】 【その他の指標】 運営に携わる市民の人数（講師、参加者数）		高い満足度を維持することで、市民の学習意欲が満たされる。また、講座から発生した自立した活動（育成サークル等）に参加することにより、市民が居場所や生きがいを見つける。 (成果指標名) 全講座アンケートの平均満足度		大事業共通 自立した活動（育成サークル等）に参加した市民が、活動を継続し、やがて地域人材となり、地域での学び合いに貢献する。また、仲間づくり・居場所づくりが、市民主体のまちづくりへと発展する。	

Ⅱ 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 公民館講座開講数 【単年】	回	基準値	11	目標値	10	10	10	10	10	
					目標値	10	実績	13					
		2	【その他指標】 運営に携わる市民の人数（講師、参加者数）	人	基準値	-	目標値	100	100	100	100	100	
					目標値	-	実績	187					
		3			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		4			基準値		目標値						
					目標値		実績						
	エピソード	事業開始の背景	第2次長久手市生涯学習基本構想に基づき、市民が学習意欲を持つきっかけとなる講座として開講している。講座終了後は、市民による自主的な学習及び自主学習サークル（育成サークル）の立ち上げの支援を行っている。公民館講座では、市内で活動する団体に運営を依頼する協働主催講座と、講師も受講生と共に学び合う「ながくて・学び・アイ講座」の2種類を軸として展開している。										
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
		R 6	「ながくて・学び・アイ講座」の講師募集チラシのデザインを一新したところ、令和6年度講座の講師応募が前年の24講座から30講座と大幅に増加した。ただし24講座を選考し受講生募集を行ったところ、開講した講座は11講座と開講率はあまり改善されなかった。令和7年度は講座要項を改め、連続講座ではなく1 DAY講座にして募集を行ったところ、14講座募集のところ26講座の応募があり、選考により受講生募集を行う14講座はすべて新規応募の講師となった。開講率アップを目指し、今後講師向けの事前講座も実施予定。				R 7						
		R 8					R 9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標										
		全講座アンケートの平均満足度		%	R4 年度	▶	R5 年度	▶	【現状】 R6 年度	▶	R7 年度	▶	R8 年度		
					86	86	88	80	80						
		成果達成状況					指標目標値の根拠								
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					満足度は、受講生の学習意欲を満たした指標であり、満足感を得ることで、今後の自主的な継続学習や生きがいにつながっていくため。							
	評価の理由、分析														
	アンケート調査による満足度は高く一定の評価はできる。しかし参加者不足による開講率が低く、講座を実施するまでに至ることができていない講師希望者がいるのも事実のため、成果達成状況をBとした。														
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由											
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		業務を効率化し、一体的に実施することでマンパワーを節約していく										
			改善ポイント												
（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）															
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容									見直し可能年度			
1		生涯学習講座 ・囲碁講座 ・史跡巡り	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	囲碁(羽根先生)と郷土史研究会は地元活動団体であるため講座の開催をつづけている。すでに本数を大幅に削減しているため、現在の2講座を継続するが、団体による主体的な運営を促し、事務量の削減に務める。									R7		

IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3 年間の 推移	(単位：千円)	R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
		B	A. 拡充 B. 現状維持		事業費	予算	決算	予算	決算	予算		
			C. 縮小 D. 廃止			751	307	784	437	783		
		理由			特定財源	合計額						
		講座を削減したため、今後講座を増やす拡充は行わない。 多くの事務負担と人件費を必要とする、「学びアイ講座」は目的に沿ったスリム化を行い、講座が目的を果たせるように改変しながら、業務負担も軽減する。				(内 国費)						
						(内 県費)						
						(内 諸収入)						
						(内 その他)						
		積算額			一般財源		751	307	784	437	783	
		未定			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞							
					公民館講座講師料 744千円（744千円）							
食糧費 7千円（7千円） 印刷製本費 32千円（33千円）												